

令和8年度 第1回議会報告会 まとめ

1. 開催日等 令和8年5月16日（土）10:00～12:00 国府支所2階会議室
14:00～16:00 保健センター2階研修室
2. 出席議員 清田文雄議長、玉虫志保実副議長、竹内恵美子議員、
鈴木たまよ議員、吉川重雄議員（保健センターのみ）、
二宮加寿子議員、鈴木京子議員、石川則男議員、おかみゆき議員、
高橋英俊議員 毛利泰輔議員、庄子幸太議員、亀倉弘美議員
3. 参加人数 国府支所 会場 14名
保健センター 会場 11名、オンライン2名 総計 27名
4. アンケート結果 別添のとおり
5. 報告会における町民からの質問及び意見等

国府支所

○第1部 令和8年度当初予算&主な新規事業

- （問）環境対策事業の有害鳥獣対策、シカ対応を専門家に委託するとのことだが、シカが出没した際、環境課へ連絡したところ 30 分以上かかった。委託する以上、初動対応をきちんと担保した契約内容にしてほしい。
- （答）環境課は役場ではなく美化センター（厚木道路方面）にあるため、到着に約 20 分かかる。初動体制について環境課に確認し、申し伝える。
- （意見）今年度の防犯カメラ設置を評価する。防犯・不法投棄対策の両面で、今後もカメラを増やしていただきたい。
- （答）令和8年度は既存3か所から新たに7か所を追加し、合計 10 か所となる予定。
- （問）令和8年度の全会計合計が前年比で約 10 億円増となっているが、この増加分をどこから賄うのか。財源の内訳を教えてほしい。
- （答）一般会計約 5.2 億円増の主な要因は、①町税 1.4 億円増、②地方交付税 1.4 億円増、③国庫・県支出金合計約 3 億円増。一方で地方債は前年比約 1.4 億円減。教育費が特に増加しており、小中学校空調整備事業（約 5.7 億円）や ICT 教育推進事業（約 2 億円）が主要因。これらには国の補助や防災減災事業債が充てられており、すべてが一般財源ではない。
- （答）議会だよりの当初予算一覧に前年対比の数値を加えてほしい。
- （問）貴重な提案として受け止め、今後の議会だより作成の参考にする

○第2部 グループ別フリートーク

Aグループ

- ・馬場公園で国府祭の前に雨庭が作られたが、理由がわからない。花が抜かれ、石を子どもたちが投げたりして危険。事前の説明が足りない。
- ・馬場公園は神聖な場所なので、遊び方も注意が必要では。
- ・放置されているごみの後始末に苦勞した。注意喚起してほしい。
- ・通勤の車を止めてごみを出す人も問題。その対策として防犯カメラは有効ではないか。設置台数を増やしてほしい。
- ・免許返納のバスの補助は平等ではない。バス路線の近くの人しか恩恵が無い。
- ・移動支援、敬老パスを考えてほしい。
- ・商品券について、大磯町は6,000円、二宮町は8,000円。なぜ違うのか。
- ・商品券はどんな使い方をしたか等、利用後にアンケートが必要。
- ・町長の町政報告会と議会報告会、両方を聞いて言っていることの違いがわかってよかった。

Bグループ

- ・複数の地区を巻き込んだ様々な行事を実施されている。長谷川の上に子どもたちの手作り134匹の鯉のぼりを掲揚したり、蛍の鑑賞会を開催されるなど地域のつながりが作られている。
- ・ある地区では1年間360日ラジオ体操が継続実施され、家族以外とのコミュニケーションが図られ、地区交流が円滑に進む効果が期待されている。
- ・令和8年度から捕獲したイノシシを資源化する方式に変更されたが、町からの積極的なPRがない。携帯電話基地局条例など、町民生活の向上につながる施策は議会側からも積極的に発信・サポートしてほしい。

Cグループ

- ・町内会長業務の6～7割が神社行事で占められており、宗教行事が自治会活動に組み込まれていることが疑問である。
- ・自転車利用のルール強化に伴い整備が進む自転車通行帯について、大磯町の国道は道路幅員が狭く危険箇所が多い。
- ・「かなちゃんパス」の補助があっても、バス路線がないエリアは全く意味がない。
- ・物価高対策商品券未使用残高はなぜ約8,000万円残ったのか疑問である。
- ・増設される防犯カメラを誰がチェックするのか。
- ・公園の樹木が枯れたり大きくなりすぎたりしている。
- ・備蓄倉庫の場所選定はどのように決まるのか。

保健センター

○第1部 令和8年度当初予算&主な新規事業

- (問) 「セルフレジ」とはどのようなものか。また窓口業務の効率化について、具体的な効果の見込みはあるか。
- (答) セルフレジは役場・町内施設合計7か所に導入予定。町民が自分でお金を投入して支払いできる仕組みで、窓口職員の徴収業務負担を軽減する。また、マイナンバーカード・免許証の読み取りにより申請書記入を省略し、令和9年1月からの本格導入を目指している。
- (問) 大磯学童保育の622万円はどの範囲の整備か。
- (答) 大磯小学校体育館1階への学童保育室整備に向けた実施設計委託費用。アスベスト調査・既存不適格調査・用途変更などを含む設計費用である。
- (問) 予算の賛否をどのような手順で決めているのか。
- 予算特別委員会を全員で行い採決してしまえばよいのでは。
- (答) 本議会では。毎回予算特別委員会を設置し、4日間かけて審査したうえで委員長報告を行い、本会議で最終採決する手順をとっている。

○第2部 グループ別フリートーク

Aグループ

- ・シルバー人材センターは公平な運営ではない。数名に問題点を話したが、片方の話だけ聞くのは問題である。町の幹部は町民の提案に真面目に対応すべき。
- ・新庁舎は町民のために活用されるのか。現在と比べどの位大きくなるのか。役場に来なくて済むような庁舎になるのか。
- ・消防庁舎も建て替えと聞くが、場所は決まったのか。
- ・災害時の対応について、理論だけでなく具体的・実務的であるべき。もっと経験を生かすように親・子どもたちも巻き込んでほしい。

Bグループ

- ・防災倉庫にある防災備蓄品の管理について、町なのか、地域なのかをより明確にしていきたい。
- ・災害時のごみ問題など、各課で担当すべき課題については担当課内であまり議論がされていないようなので、自主防災組織や町民が関わって決めていかなくてはならないと考えている。
- ・ペットを連れて避難される方々も避難時のルールを理解することが重要である。
- ・災害弱者、例えば小さなお子さんや障がいのある方々の避難について、スムーズな避難を支援していただきたい。
- ・ごみステーションの掃除や備品購入は利用者負担。町が購入費全額補助すると、備品が大切に扱われなくなる可能性があるため、補助率引き上げにより、財政的負担を軽減しつつ、利用者の所有意識を高めることができるのでは。

- ・学校給食問題について、早期の解決が必要である。
- ・近年、発達障害を有する児童生徒の増加が顕著であるとともに、発達障害と診断されずとも、グレーゾーンにある児童生徒の増加にあるといわれている。これらの児童生徒の将来を見据え、現在の学校教育現場において、より丁寧かつ適切な対応が不可欠と考える。
- ・教員は多忙のなか、支援を必要とする児童生徒への対応に追われている。教職員が余裕を持ち、効果的な教育活動を行える教育環境の整備が望まれる。

Cグループ

- ・新たに整備予定の学童保育施設について、車椅子利用児童も利用できるよう、スロープ設置などバリアフリーに配慮した設計を求める。
- ・町内の出生数が 100 人を下回る状況を踏まえ、思い切った人口減少対策が必要。
- ・人口増加だけを目指すのではなく、自然環境や落ち着いた住環境を大切にしながら、住民が望む暮らしを維持していくことが重要。
- ・議員と話し合う機会は年に 2 回しかない。議会報告会での意見交換の時間をもっと増やしてほしい。
- ・返礼品の充実に向けて、大磯ならではの地域資源や特産品をさらに活用できるのではないか。
- ・空き家問題へのより積極的な対応を求める
- ・町内の介護施設不足により、近隣自治体の施設を利用するケースがある。一方で、住み慣れた地域で暮らし続けたいという希望も多い。施設整備と在宅介護支援の両面から取り組む必要がある。
- ・新年度予算に計上された不登校児童生徒家庭への給食費相当額支援について、利用しやすい制度設計と申請しやすい仕組みづくりを求める。

オンライン グループ（zoom参加）

- ・運転免許を以前に返納した高齢者に対する支援制度についてサポートはあるのか。高齢者福祉や移動支援の充実を求める。
- ・池田公園に防犯カメラを設置して欲しいと 5 年程前から要望している。設置場所の優先順位はどのように決められるのか。
- ・子どもたちが部活動に集中できる環境づくりについて、「大磯式部活動」の運営状況や教員負担軽減の効果は。
- ・海辺の高架下の落書き問題について、地域景観や治安への影響を懸念する。迷惑行為への罰則など厳しい対応を望む。